



東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

市民活動団体ハッスル



孤独を感じにくい“つながり”を育て、住みやすい地域へ

市民活動団体ハッスルは、地域のなかで多世代の人が暮らしているにもかかわらず、「人とのつながりが少ない」という地域の声をきっかけに生まれた団体です。

顔の見える関係づくりを大切にしながら、お互いが楽しみ助け合える関係をつくるための活動を地域の中で行っています。

団体のスタートから 会費制を取り入れた理由

団体を立ち上げた令和4年の当初から、長く活動を続けていくことを大切に考え、個人会員1,000円、企業会員1口5,000円の会費制を導入しました。活動に賛同してくれる会員からの会費で活動費の一部を支える仕組みを整えることで、安定した基盤をつくり、無理なく継続できる運営を目指しました。

また、令和6年からは御園宇小学校区住民自治協議会に地域貢献の活動が認められ、活動の共催および資金援助を受けられるようになりました。



顔の見える関係を育む地域の場

「にじいろカフェ」は、地域の多世代や海外ルーツの人たちが、立場や年齢を問わず気軽に集い、交流できる場として、市民活動団体ハッスルが中心となり、御蔭宇小学校区住民自治協議会と共催で開催しています。日常の中で人とのつながりが感じにくくなっている今、地域で顔の見える関係を育て、孤独を感じにくい地域の環境づくりを通して、住みやすい地域を目指し、少しずつ活動の輪を広げてきました。

2025年度は、「こどもカフェ」「愛caffe」「落語会」の3つの形で実施しました。愛caffeでは、若い世代を中心に、出会いのきっかけをつくるとともに、安心して話ができる場を通して、顔が見える関係や地域でのつながりが生まれています。こどもカフェでは、子どもから大人、海外にルーツを持つ人たちが参加し、保護者とも連携しながら、的あてゲームや国際交流を通して、多世代・多文化の地域のつながりが広がっています。参加者からは、「久しぶりに人と話せて元気が出た」という声も寄せられています。



市民活動団体ハッスルの これからと仲間募集

市民活動団体ハッスルの活動は、役員や会員の皆さんに支えられて続けてきました。これからも、みんなの「やりたいこと」を受け止め、それを活動につなげていきたいと考えています。私たちは、人と人をつなげる役割を果たすことで、思いきり活動できる環境をつくりたい。

地域で顔が見える関係を広げ、助け合えるまちづくりに関心のある方は、ぜひ会員になり一緒に活動してみませんか？

**顔の見える関係を地域で広げ、
みんなが助け合えるまちをつくりたい。**

団体プロフィール

- 団体名 市民活動団体ハッスル
- 設立 2022年5月
- 活動人数 役員6名 / 会員50名
- 活動拠点 御蔭宇地域センター
- 主な活動

にじいろカフェ（愛caffe、落語会、こどもカフェ）

Instagram

